

卷末資料

旨實吾兄 雅屬

張道藩



水仙図 張道藩

(すいせんず ちょうどうはん)



1 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョンの策定について(諮問)

和泉美第175号

令和6年7月5日

和泉市久保惣記念美術館
運営ビジョン策定委員会委員長 様

和泉市教育委員会

和泉市久保惣記念美術館運営ビジョンの策定について（諮問）

和泉市久保惣記念美術館運営ビジョンの策定に係る調査審議を行うため、
和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会に諮問いたします。

2 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン(案)について(答申)

令和 7 年 2 月 19 日

和泉市教育委員会 様

和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会
委員長 井上 敏

和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン(案)について (答申)

令和 6 年 7 月 5 日付け和泉美第 175 号にて諮問のありました「和泉市久保惣記念美術館運営ビジョンの策定」について、別添「和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン(案)」のとおり、答申します。

今後のビジョン策定にあたっては本答申を十分尊重されるとともに、下記の事項について十分配慮され、ビジョンを推進することを要望します。

記

1. 使命(ミッション)、基本方針(ビジョン)の実現に向けて

- ・ 「多様な価値観・心の豊かさを育む美術館」、「未来の和泉を織りなす美術館」、「まちと人を紡ぐ、和泉に根ざした美術館」の使命のもと、和泉市美術館条例第 1 条の設置目的「美術に対しての知識及び教養の向上並びに芸術の創造及び普及に資する施設として、美術館を設置する。」に加え、まちづくり、国際交流、来訪促進、産業、福祉等関係機関との連携協力、地域活力の向上に資する美術館運営を推進されたい。
- ・ 基本方針「多様な主体が美術館のリソースを最大限に使いこなすことで美術館とまちが融和した質の高い空間を形成し、和泉の価値と創造性を高めます。」に基づき、13,000 点の多種多様なコレクションを始めとした有形・無形のリソースの有効活用、まちと美術館と融和した質の高い空間(ミュージアムタウン)の形成を推進されたい。

2. 重点的取組について

(1) 『美術館を知ってもらいより多くの方に来て頂く広報宣伝活動とインバウンド戦略』について

- ・ より多くの方に魅力的で多彩・豊富な収蔵品を有する美術館を知って頂く広報宣伝と、これらの作品を主力とした展覧会の充実及びインバウンド戦略を進められたい。
- ・ 大阪・関西万博の開催や IR の開業予定を見据え、インバウンド需要に対応した展覧会の開催と戦略的なプロモーションを実施されたい。

(2) 『関係機関との連携協力により美術館のリソースを最大限に使いこなす』について

- ・ まちづくり、教育、観光、企業、国際交流及び医療福祉など文化行政の枠を超えて、地域の多様な主体との連携及び協力を行うことで、より多様で豊かな体験の提供を進められたい。
- ・ 美術館を応援し利用する市内企業と「(仮称) 企業家プレミアムクラブ」の創設や桃山学院大学と(仮称) キャンパスメンバーズ制度創設の検討を進められたい。
- ・ 和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムやアートギャラリー河野邸との連携協力により、「和泉・久保惣ミュージアムタウン構想」を推進されたい。

(3) 『リニューアルの推進により、収蔵品を最大限活かした展覧会の開催と次世代につなぐ美術館』について

- ・ 大きく変化した社会環境を背景とし、多くのコレクション(市の文化財産)を最大限に活かした展覧会を開催し、グローバルな文化財産として世界に発信するため、また、より多くの方が美術を享受し、人生が豊かに思えるようにするため、リニューアル基本構想、基本計画、基本設計の策定を推進されたい。
- ・ 美術館の長寿命化に併せて、寄贈敷地の有効利用と浮世絵版画を主力にした収蔵品を活かした展覧会の開催に対応するリニューアルを推進されたい。
- ・ 関係機関との連携協力の取組みにより、美術館リソースを最大限に活用すると共に、ふるさと納税の活用などの資金確保や、入館料の見直し及びその他の収益確保に努められたい。

(4) 『グローバルな文化財産として、他館との連携強化と世界の美術館との交流促進』について

- ・ 美術館の持つグローバルな文化財産を共有し合うネットワークの形成、これまでの活動で培った世界の美術館との交流をさらに促進されたい。
- ・ 国内の美術館とは、これまでの繋がりを基にし、次代を担う学芸員とのネットワ

ーク構築と共に、展覧会の開催や防災協力など幅広い連携を進められたい。

- ・ 海外の美術館で実施した調査や交流内容について、市民をはじめとして広く伝え、その成果を美術館の運営に活かしていただきたい。

(5) 『組織マネジメントの強化と効率的で効果的な運営へ』について

- ・ 本ビジョン達成に向けて、組織マネジメントを強化し、当館の規模やスタッフ等の実情を考慮した効率的かつ効果的な運営手法について検討をされたい。
- ・ 展覧会業務と広報宣伝やプロモーション業務を主としたマネジメント力の強化を図られたい。
- ・ 施設管理業務の総合発注、広報宣伝業務と広告などと組み合わせた広報業務について、専門性を持つ民間事業者への一括発注など、財団の職員が直接行う業務を整理し移行されたい。

3. 重点的取組に係る優先順位について

- ・ 重点的取組においては、『1. 美術館を知ってもらいより多くの方に来ていただく戦略的な広報宣伝活動とインバウンド戦略』、『2. 関係機関との連携協力により美術館を最大限に使いこなす』について、優先的に取り組んでいただきたい。
- ・ また、優先的に進める取組に関連して、『3. リニューアルの推進により、収蔵品を最大限活かした展覧会の開催と次世代につなぐ美術館』について、推進されたい。

3 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会委員名簿

役 職	氏 名	職 名
委員長	いのうえ さとし 井上 敏	桃山学院大学経営学部教授・博物館学芸員課程主任
副委員長	たかはし すみよ 高橋 澄代	和泉商工会議所 副会頭
委 員	おおにし たつこ 大西 起子	公募市民
委 員	くぼ しょうへい 久保 尚平	一般財団法人和泉市文化振興財団 評議員
委 員	ひらた とものり 平田 知敬	公益財団法人大阪観光局 常務理事
委 員	まつもと のぶゆき 松本 伸之	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館館長

4 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定の取り組み経過

1 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会審議経過

実施時期	会議内容
令和6年 7月5日	第1回委員会 <ul style="list-style-type: none"> 委員の紹介・委嘱状の交付 委員長・副委員長の選出 案件の諮問 ビジョン策定の目的・スケジュールについて 美術館の現状について 運営ビジョンの構成イメージ・論点シートについて
令和6年 9月10日	第2回委員会 <ul style="list-style-type: none"> 運営ビジョン作成に向けた基礎調査等の経過 使命(ミッション)案、基本方針(ビジョン)案、取組方針(コンセプト)案 先行的取組ワーキンググループ会議について
令和6年 10月22日	第3回委員会 <ul style="list-style-type: none"> 使命(ミッション)、基本方針(ビジョン)の修正案の確認 取組方針(コンセプト)案の内容について 先行的取組について
令和6年 12月3日	第4回委員会 <ul style="list-style-type: none"> 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン(素案)・概要版(素案)について
令和7年 1月28日	第5回委員会 <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント実施結果について 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン案について 和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン答申案について

2 その他

実施時期	実施内容
令和6年 9月12日～10月1日	第1回 庁内ワーキンググループ
令和6年 令和7年 12月28日～1月21日	パブリックコメント実施
令和7年 1月16日～1月23日	第2回 庁内ワーキンググループ

参考 運営ビジョン策定に係る先行的取組庁内ワーキンググループ名簿

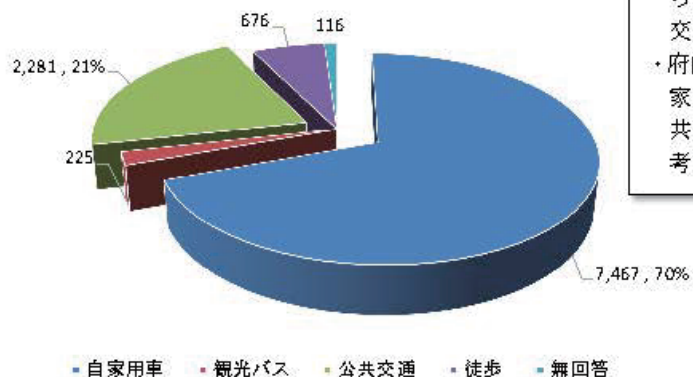
NO	部会名	担当課
1	美術館のリソースを最大限に使いこなす	学校教育室教育指導担当
		政策企画室政策・資産マネジメント担当
		健康づくり推進室病院経営管理担当
		産業振興室商工観光担当
2	広報・インバウンド	広報・協働推進室いずみアピール担当
		産業振興室商工観光担当
3	リニューアル基本構想策定	建築住宅室公共建築担当
4	マネジメント強化と運営	政策企画室企画経営担当

5 来館者アンケート調査結果

第1回委員会配布資料

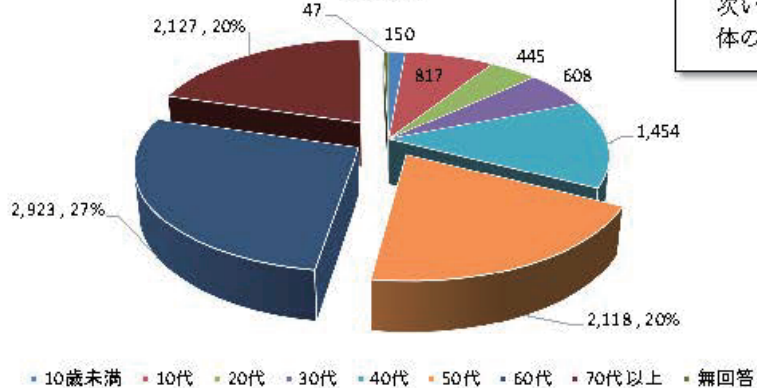
【アンケート調査から】 平成26年度から令和5年度

交通手段



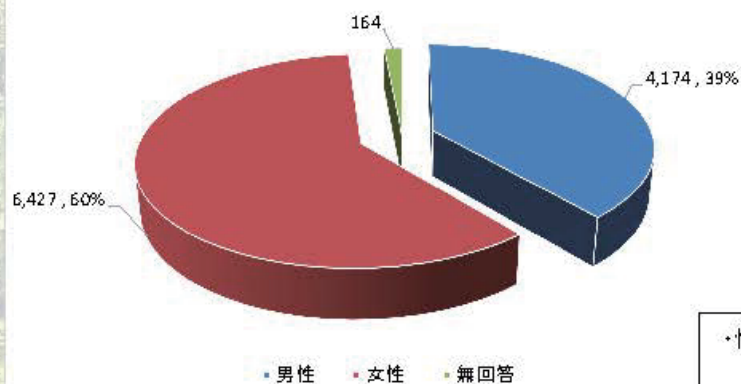
- ・全体の70%の方が自家用車を使って来館されています。次に公共交通利用が21%となっています。
- ・府内の来館者が最も多い中で、自家用車利用が多いのは、やはり公共交通利用が不便であるためと考えられます。

年齢層



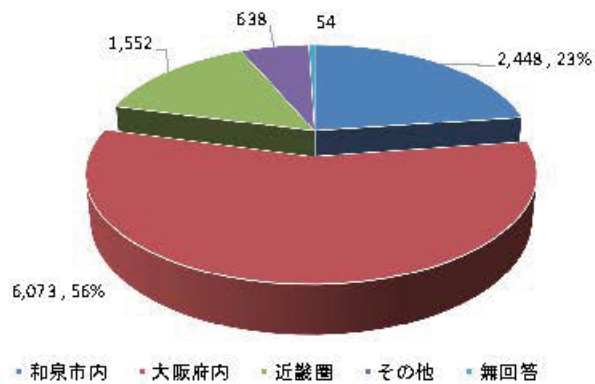
- ・60代の来館者が27%で最も多く、次いで70代以上50代と続き全体の70%近くを占めています。

性別



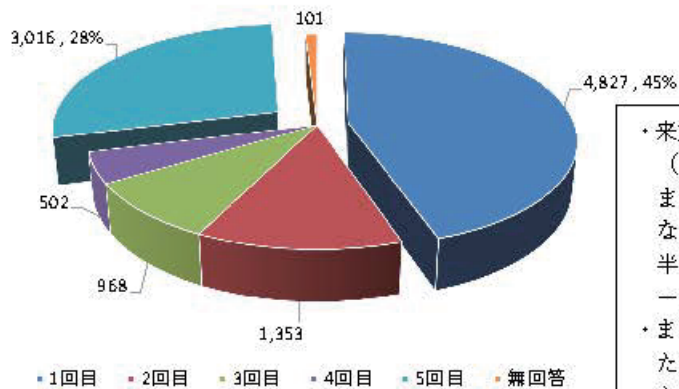
- ・性別では、女性の来館者が60%となっています。

お住まい



・来館者のお住まいを見ると、半数以上が大阪府内からで 56% となります。次に本市にお住まいの方で 23% となっています。

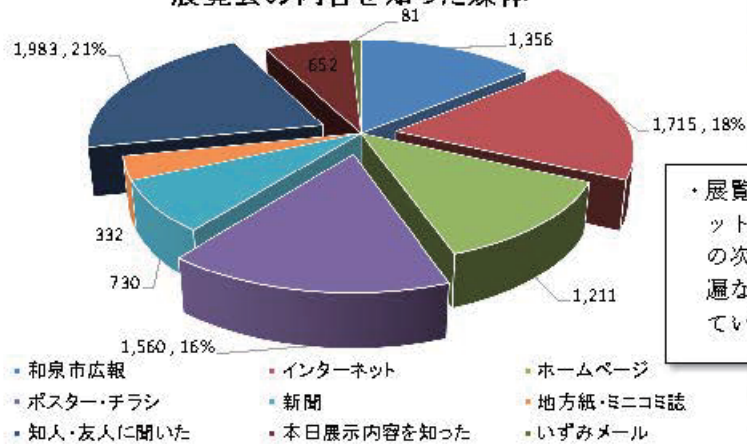
来館頻度



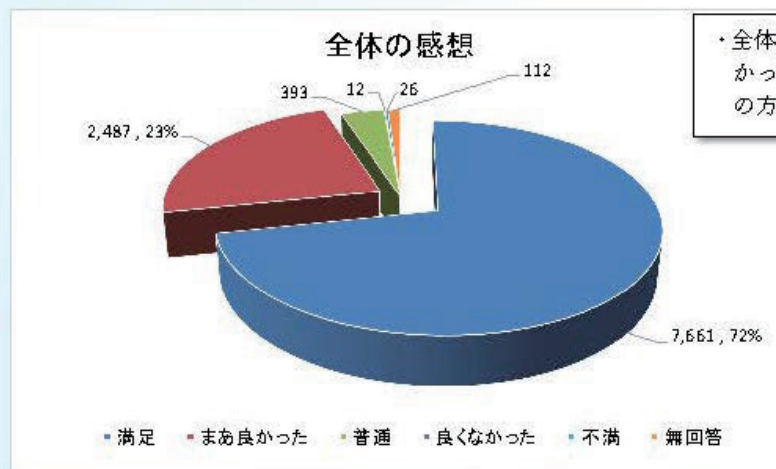
・来館頻度は、初めて来館される方（1回目）が最も多く 45% となります。次に 5 回目以上（28%）となります。2 回目以上の来館者が半数以上となっておりリピーター数も安定しています。

・また、来館者数の目標達成には新たなファン層の取り組みも重要となります。

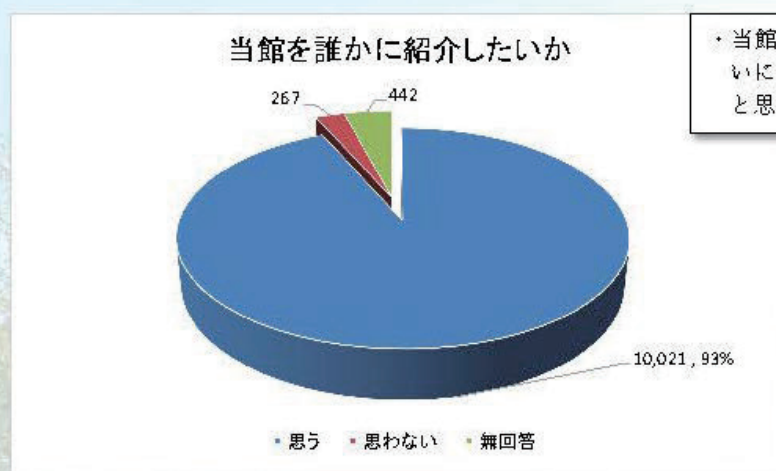
展覧会の内容を知った媒体



・展覧会の情報では、「インターネット」が「知人・友人に聞いた」の次に多く 18% となりますが、満遍なくあらゆる情報をご覧いただいていることが分かります。



・全体的な感想では、満足、まあ良かったを含むと95%となり、多くの方に満足を頂いています。



・当館を誰かに紹介したいかの問いにも、93%の方が「紹介したいと思う」と答えています。

